

# 第22回日本産婦人科・新生児血液学会 タイムスケジュール

第1日目 平成24年6月29日(金)

	メイン会場 アスト津4F アストホール	ポスター発表・懇親会会場 ホテルグリーンパーク津6F
9:00	8:50～受付開始 開会の挨拶	
10:00	9:10～10:20 ワークショップI「小児科悪性腫瘍」 企画座長：駒田美弘 演者：伊藤悦朗 「Down症候群に伴うTAM発症の分子機構」 菊地 陽 「TAMの臨床」 石井栄一 「新生児白血病：病態と臨床像」	
11:00	10:25～11:55 シンポジウムI 「母体血を用いた胎児診断」 企画座長：増崎英明 座長：瀧澤俊広 演者：三浦清徳 「母体血を用いた胎児診断」 関沢明彦 「母体血を用いた妊娠合併症の発症予知」 瀧澤俊広 「マイクロRNA解析から見出された妊娠高血圧症の新規予知因子」 須波 玲 「母体内における胎児由来幹細胞動態について」	
12:00	12:00～12:55 ランチョンセミナーI (共催：CLSベーリング(株))  「妊娠高血圧症候群の病態を再考する」 座長：水上尚典 演者：三宅良明	
13:00	13:00～13:30 評議員会	
14:00	13:30～13:40 総会  13:50～14:25 教育講演I 「免疫学からみたワクチンの最前線」 座長：瀧 正志 演者：庵原俊昭	
15:00	14:30～15:30 特別講演 「血栓症の分子病態とDIC治療薬の創製」 座長：佐川典正 演者：鈴木宏治	15:00～17:00 ポスター貼付準備
16:00	15:35～17:05 シンポジウムII 「iPS細胞の新生児領域への応用」 企画座長：中畠龍俊 演者：斎藤 潤 「ヒトiPS細胞からの造血分化と疾患解析への応用」 澤本和延 「新生児脳傷害動物モデルを用いた神経幹細胞による再生機構の解析」 大橋十也 「ライソゾーム病の細胞・遺伝子治療法の開発」	
17:00	17:10～18:10 ビタミンKフォーラム (共催：エーザイ(株)) 1. 「ビタミンKの新しい作用メカニズム」 座長：寺尾俊彦 演者：井上 聰 2. 「小児のワーファリン治療」 座長：白幡 聰 演者：高橋幸博	
18:00		17:30～18:20 ポスター供覧 (ドリンクサービス)
19:00		18:20～19:20 ポスター発表
20:00		19:20～ 懇親会

第2日目 平成24年6月30日(土)

	メイン会場 アスト津4F アストホール
	8:50～受付開始
10:00	9:00～11:30 産婦人科・新生児領域血液疾患診療の手引き作成に向けて(素案の解説とパブリック・オピニオンを聞く会) 座長：板倉敦夫 細野茂春
11:00	
12:00	11:35～12:10 教育講演II 「妊娠における静脈血栓塞栓症への適切な対処法」 座長：金山尚裕 演者：山田典一
13:00	12:15～13:10 ランチョンセミナーII (共催：GEヘルスケアジャパン(株))  「産科出血と母体死亡」 座長：池ノ上 克 演者：池田智明
14:00	13:15～14:25 ワークショップII「母子感染」 企画座長：前田 真  演者：野口靖之 「淋菌混合感染を念頭においた妊娠クラミジア子宮頸管炎への対応」 山下美和 「サイトメガロウイルス(CMV)の母子感染」 築山尚史 「長崎県におけるHTLV-Iの母子感染予防の取り組み」 谷口晴記 「HIV母子感染予防対策の現状と課題」 二井 栄 「クリニックにおけるワクチン接種の取り組み」
14:30	閉会の挨拶

(表中敬称略)

## ■ 特別講演

特別講演 [平成24年6月29日(金) 14:30~15:30]

S1-2

### 「血栓症の分子病態とDIC治療薬の創製」

座長：三重大学名誉教授・洛和会音羽病院 総合女性医学健康センター 所長 佐川 典正 先生  
演者：三重大学名誉教授（現 鈴鹿医療科学大学薬学部） 教授 鈴木 宏治 先生

## ■ 教育講演

教育講演I [平成24年6月29日(金) 13:50~14:25]

S3-4

### 「免疫学からみたワクチンの最前線」

座長：聖マリアンナ医科大学小児科学 教授 瀧 正志 先生  
演者：独立行政法人国立病院機構 三重病院 院長 堂原 俊昭 先生

教育講演II [平成24年6月30日(土) 11:35~12:10]

S5-6

### 「妊娠婦における静脈血栓塞栓症への適切な対処法」

座長：浜松医科大学産婦人科 教授 金山 尚裕 先生  
演者：三重大学医学部附属病院循環器内科 講師 山田 典一 先生

## ■ シンポジウム

シンポジウムI [平成24年6月29日(金) 10:25~11:55]

### 「母体血からの胎児情報」

企画・座長：長崎大学医学部産婦人科 教授 増崎 英明 先生  
座長：日本医科大学分子解剖学 教授 瀧澤 俊広 先生

### 「母体血を用いた胎児診断」

演者：長崎大学医学部産婦人科 准教授 三浦 清徳 先生

### 「母体血を用いた妊娠合併症の発症予知」

演者：昭和大学医学部産婦人科 准教授 関沢 明彦 先生

### 「マイクロRNA解析から見出された妊娠高血圧腎症の新規予知因子」

S11-12

演者：日本医科大学分子解剖学 教授 瀧澤 俊広 先生

### 「母体内における胎児由来幹細胞動態について」

S13-14

演者：山梨県立中央病院総合周産期母子医療センター 医長 須波 玲 先生

## ■ シンポジウム II [平成24年6月29日（金）13：35～17：05]

### 「iPS細胞の新生児領域への応用」

企画・座長：京都大学iPS細胞研究所 副所長・臨床応用研究部門 部門長 中畠 龍俊 先生

#### 「ヒトiPS細胞からの造血分化と疾患解析への応用」

S15-16

演者：京都大学iPS細胞研究所臨床応用研究部門 講師 斎藤 潤 先生

#### 「新生児脳傷害動物モデルを用いた神経幹細胞による再生機構の解析」 S17-18

演者：名古屋市立大学再生医学分野 教授 澤本 和延 先生

#### 「ライソゾーム病の細胞・遺伝子治療法の開発」 S19-20

演者：東京慈恵会医科大学DNA医学研究所・小児科 教授 大橋 十也 先生

## ■ ワークショップ

### ワークショップ I [平成24年6月29日（金）9：10～10：20]

#### 「小児科悪性腫瘍」

企画・座長：三重大学医学部小児科 教授 駒田 美弘 先生

#### 「Down症候群に伴うTAM発症の分子機構」 S21-22

演者：弘前大学大学院医学研究科・小児科 教授 伊藤 悅朗 先生

#### 「TAMの臨床」 S23-24

演者：帝京大学医学部小児科 教授 菊地 陽 先生

#### 「新生児白血病：病態と臨床像」 S25-26

演者：愛媛大学大学院小児科医学 教授 石井 榮一 先生

### ワークショップ II [平成24年6月30日（土）13：15～14：25]

#### 「母子感染」

企画・座長：三重大中央医療センター総合周産期母子医療センター 部長 前田 真 先生

#### 「淋菌混合感染を念頭においた妊婦クラミジア子宮頸管炎への対応」 S27-28

演者：愛知医科大学産婦人科 講師 野口 靖之 先生

#### 「サイトメガロウイルス（CMV）の母子感染」 S29-30

演者：浜松医療センター産婦人科 科長 山下 美和 先生

#### 「長崎県におけるHTLV-Iの母子感染予防の取り組み」 S31-33

演者：長崎大学医学部産婦人科 助教 築山 尚史 先生

#### 「HIV母子感染予防対策の現状と課題」 S35-36

演者：三重県立総合医療センター産婦人科 医長 谷口 晴記 先生

#### 「クリニックにおけるワクチン接種の取り組み」 S37-38

演者：白子クリニック 院長 二井 栄 先生

## ■ 産婦人科・新生児領域血液疾患診療の手引き作成に向けて (素案の解説とパブリック・オピニオンを聞く会)

[平成24年6月30日(土) 9:00~11:30]

座長：埼玉医科大学産婦人科 教授 板倉 敦夫 先生  
日本大学医学部小児科 准教授 細野 茂春 先生

## ■ ランチョンセミナー

ランチョンセミナーI [平成24年6月29日(金) 12:00~12:55]

### 「妊娠高血圧症候群の病態を再考する」

座長：北海道大学医学部産婦人科 教授 水上 尚典 先生  
演者：市立四日市病院周産期母子医療センター長 三宅 良明 先生  
共催：CSLベーリング（株）

ランチョンセミナーII [平成24年6月30日(土) 12:15~13:10]

### 「産科出血と母体死亡」

座長：宮崎大学医学部附属病院 院長 池ノ上 克 先生  
演者：三重大学医学部産婦人科 教授 池田 智明 先生  
共催：GEヘルスケア・ジャパン（株）

## ■ ビタミンKフォーラム [平成24年6月29日(金) 17:10~18:10]

共催：エーザイ株式会社

### 1. 「ビタミンKの新しい作用メカニズム」

座長：浜松医科大学 名誉教授 寺尾 俊彦 先生  
演者：東京大学医学系研究科抗加齢医学講座 特任教授 井上 聰 先生

### 2. 「小児のワーファリン治療」

座長：産業医科大学 名誉教授 白幡 聰 先生  
演者：奈良県立医科大学附属病院総合周産期母子医療センター 教授 高橋 幸博 先生

■一般演題（ポスター発表）18：20～19：20 会場：ホテルグリーンパーク津 6F 萩の間

(敬称略)  
(施設名簡略化)

座長	演題番号	演者	所属	ページ
		演題名		
第1群 大量出血				
森川 守 北海道大学 産婦人科	1	森川 守	北海道大学産婦人科	S39-40
		正常妊娠における経腔分娩直前のアンチトロンビン活性、血小板数、ヘモグロビン値、ヘマトクリット値		
	2	瀬戸さち恵	埼玉医科大学産婦人科	S41-42
		当院における産科出血と凝固系推移の検討		
	3	中林 靖	愛育病院産婦人科	S43-44
分婏時不全子宮破裂を発症しフィブリノゲン製剤、活性型第VII因子製剤を用いて危機的出血に対応した1例				
	4	井上恵莉	埼玉医科大学産婦人科	S45-46
		常位胎盤早期剥離に合併するDICに対してrecombinant thrombomodulin(rTM)を使用した2症例の検討		
	5	川上浩介	小倉医療センター産婦人科	S47-48
		当科における産婦人科緊急出血に対する止血を目的としたメトロイリンテルの使用方針		
第2群 血小板減少				
高橋幸博 奈良県立医科大学 小児科	6	宮川雄一	武藏野赤十字病院新生児科	S49-50
		脾摘後ITP母体より出生した新生児受動免疫性血小板減少症の同胞例		
	7	矢野阿壽加	音羽病院産婦人科	S51-52
		特発性血小板減少性紫斑病(ITP)の母体から出生した新生児の血小板減少症の一例		
	8	小浦 詩	富山大学産婦人科	S53-54
		口腔内出血を契機に肝由来凝固因子の低下を認めた極低出生体重児の一例		
	9	小池奈月	奈良県立医科大学産婦人科	S55-56
		May-Hegglin異常合併妊娠の1例		
	10	高橋幸博	日本未熟児新生児学会ワーキンググループ	S57-58
		ビタミンK欠乏性出血症の新規PIVKA-II 検査法—ピップカルテストからデタミナーCL ピップカルテストに—		
第3群 欠乏症ほか				
大井豪一 奈良県立医科大学 産婦人科	11	鈴木一有	浜松医科大学産婦人科	S59-60
		先天性無フィブリノゲン血症患者の妊娠・分娩管理 5症例 8分娩の経験		
	12	佐道俊幸	奈良県立医科大学産婦人科	S61-62
		前回妊娠時に深部静脈血栓症の既往がある先天性アンチトロンビンIII 欠乏症合併妊娠の1例		
	13	砂川空広	愛育病院産婦人科	S63-64
妊娠中期より治療を開始した先天性凝固抑制因子欠乏症合併妊娠の2症例				
	14	松永友佳	九州大学小児科	S65-66
		仮死と急性腎不全で発症した新生児後天性プロテインC欠乏症の1例		
	15	大賀正一	九州大学小児科	S67-68
日本人の新生児・小児における症候性プロテインC欠乏症の発症様式				

(敬称略)  
(施設名簡略化)

座長	演題番号	演者	所属	ページ
		演題名		
<b>第4群 血栓塞栓</b>				
渡辺 尚 自治医科大学 産婦人科	16	渡辺 尚	自治医科大学産婦人科	S69-70
		我が国における帝王切開術後の静脈血栓塞栓症予防目的抗凝固療法の現況		
	17	春田祥治	奈良県立医科大学産婦人科	S71-72
		抗凝固薬による帝王切開術後静脈血栓塞栓症予防		
	18	高木崇子	杏林大学産婦人科	S73-74
		当院におけるフォンダパリヌクスナトリウムによる周術期の肺血栓塞栓症予防について		
	19	小味由里絵	三重大学医学部検査医学	S75-76
<b>第5群 骨髄異形性症候群</b>				
永井公洋 国際医療福祉大学 産婦人科	22	松原謙慶	福井赤十字病院産婦人科	S81-82
		骨盤腹膜炎症状を呈した高顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)血症を伴う巨大皮様囊腫の一症例		
	23	柏木唯衣	浜松医療センター産婦人科	S83-84
		東日本大震災時に広域母体搬送が行われた骨髄異形成症候群合併妊娠の1例		
	24	金野 潤	東京女子医科大学産婦人科	S85-86
<b>第6群 ウイルス感染</b>				
沢田 健 東邦大学佐倉病院 小児科	26	沢田 健	東邦大学医療センター佐倉病院小児科	S89-90
		先天性サイトメガロウイルス関連性HLLに起因したと思われるNHFの超低出生体重児		
	27	鈴木真波	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院産婦人科	S91-92
		臍帯のPCRで最終的に先天性CMV感染症と診断した血小板減少性紫斑病の1例		
	28	千田時弘	三重県立総合医療センター産婦人科	S93-94
<b>当院におけるHIV母子感染予防対策</b>				
	29	菅谷 亜弓	白子クリニック産婦人科	S95-96
		当院における風疹抗体スクリーニングと風疹抗体価の経時的変化		